

## 【マーケットフォロー】 市場関係者が注目していた節目を割り込み円高が加速

(情報提供: フロンティアアドバイザーズ株式会社)

本日の為替相場では円高が進み、一時 2016 年 11 月以来の 106 円台を記録しました。

背景には、

- 依然として米国株の動向が不安定なために、リスク回避の動きが強まった。  
(リスク回避の動きが強まると市場では円高になる傾向があります)
- 直近安値 107 円 32 銭を下回ったことで、米ドル高シナリオの前提が一時的に崩れた。
- 市場では既に円安を見込んだ円を売るポジションが相当に積み上がっており、このところの円高傾向に加えて、上記のように安値を割り込んだことで、そのポジションを手じまう(円の買戻し=円高要因)取引が増えた。

などが挙げられます。

今の市場は、実態よりもマーケットのの雰囲気動きやすくなっており、米国の株式市場が落ち着くまでは円高になりやすい状態が続く可能性があります。市場では、米国株式市場が落ち着きを取り戻せば、徐々に実態経済を反映した展開になり、米国金利の上昇を背景とした米ドルの反転を見込む声も聞かれます。

※2018 年 2 月 14 日現在:見通しは今後変更される可能性があります。

- 
- ・本稿は、情報提供会社が制作したもので、新生銀行が特定の金融商品の売買を勧誘・推奨するものではありません。
  - ・本資料は情報提供を目的としたものであり、新生銀行の投資方針や相場観等を示唆するものではありません。
  - ・金融商品取引を検討される場合には、別途当該金融商品の資料を良くお読みいただき、充分にご理解されたうえで、お客さまご自身の責任と判断でなさるようお願いいたします。
  - ・上記資料は情報提供会社が各種の信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を新生銀行が保証するものではありません。
-